

京都市交響楽団 特別演奏会

ニューイヤーコンサート

The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra
"New Year Concert"

道義のニューイヤー with 箏の新星LEO!
伊福部昭作品とワルツで新年を〜池辺晋一郎の新作とともに

2021 **1/10**日

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

Sunday, January 10, 2021 / 2:30PM

京都コンサートホール

Kyoto Concert Hall 京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

伊福部昭：管弦楽のための「日本組曲」から第4曲「佞武多(ねぶた)」
伊福部昭：二十絃箏とオーケストラのための「交響的エグログ」
池辺晋一郎：ワルツと語ろう (井上道義委嘱作品) [世界初演]
武満徹：「3つの映画音楽」からワルツー「他人の顔」より
ドリーブ：バレエ音楽「コッペリア」からワルツ
ハチャトゥリヤン：組曲「仮面舞踏会」からワルツ
チャイコフスキー：バレエ組曲「眠りの森の美女」からワルツ

Akira Ifukube : Japanese Suite for orchestra - No.4 "NEBUTA, Festal ballad"
Akira Ifukube : Églogue symphonique pour koto à vingt cordes et orchestre
Shin-ichiro Ikebe : Let's talk with Waltz [World Premiere]
(commissioned by Michiyoshi Inoue)
Toru Takemitsu : "Three Film Scores" - Waltz from "Face of Another"
Delibes : "Coppélia", ballet music - Waltz
Khachaturian : "Masquerade", suite - Waltz
Tchaikovsky : "The Sleeping Beauty", ballet suite - Waltz

2020 11/21 ㊦ から発売

入場料 **S**¥5,500 **A**¥5,000 **B**¥4,000 **C**¥3,000 **P**¥2,000

※3階サイド席及びP席につきましては、通常の座席配置での販売となります。

(舞台後方席)

本公演は、新型コロナウイルス感染症を巡る状況に鑑み、徹底した感染防止策を講じた上で開催いたします。
ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。

京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います。
(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)

◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-222-0347)までお問い合わせください。

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「託児ルーム」は受付を中止しております)。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

◎プレイガイド(電話予約)

・京都コンサートホール (075) 711-3231 ・ロームシアター京都 (075) 746-3201
・24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード167-999
・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード54470
(電話予約休止中)



指揮 **井上 道義**

Conductor : Michiyoshi Inoue

©高木ゆりこ



箏 **LEO**

Koto : LEO

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra "New Year Concert"

1990～98年音楽監督&第9代常任指揮者として京響をリードした井上道義が指揮に登場。

前半は伊福部昭の作品から、新春に相応しくLEOの箏が共演する「交響的エグログ」を。

後半は現代日本を代表する作曲家・池辺晋一郎が井上のために書き下ろした新曲「ワルツと語ろう」と、

チャイコフスキーから武満まで古今東西の「ワルツ」セレクションで、一味違ったオリジナリティあふれる新年を！

指揮 井上 道義 Conductor : Michiyoshi Inoue



1946年東京生まれ。桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。1977年から1982年までニュージーランド国立交響楽団の首席客演指揮者、1983年から1988年まで新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督、1990年から1998年まで京都市交響楽団の音楽監督&常任指揮者、2014年から2017年まで大阪フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者、2007年から2018年まではオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を務め、斬新な企画と豊かな音楽性で一時代を切り開いた。これまでにシカゴ響、ハンブルク響、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、レニングラード響、フランス国立管、プタペスト祝祭管、KBS響、およびベネズエラ・シモンボリバルなど世界一流のオーケストラへ登壇。2007年日露5つのオーケストラとともに「日露友好シオスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」を実施し、音楽・企画の両面で大きな

成功を収め、同プロジェクトを収録した「シオスタコーヴィチ交響曲全集 at 日比谷公会堂」BOXを2017年2月にリリース。2014年4月に病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。2015年全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)、2017年大阪国際フェスティバル「バーンスタイン：ミサ」(演出兼任)を自身23年ぶりに、2019年全国共同制作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」(森山開次演出、いずれも総監督として率い)既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年9月には「日越外交関係樹立45周年記念 NHK交響楽団ベトナム公演」を成功に導き、70歳を超えた現在、その演奏は益々々々興味を増している。1998年「フランス政府芸術文芸勲章(シュヴァリエ)」)、2010年「平成22年京都市文化功労者」、社団法人企業メセナ協議会「音もてなし賞」、2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。

オフィシャルサイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>

箏 LEO Koto : LEO



1998年横浜生まれ。横浜インターナショナルスクールで9歳の時に箏と出会い、音楽教師であり箏曲家のカーティス・パターソン氏の指導を受け、のちに箏曲家 沢井一恵氏に師事。14歳で全国小中学生箏曲コンクールのグランプリ受賞。日本を代表するコンクールの一つである「くまもと全国邦楽コンクール」コンクール史上最

年少の16歳で最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。NHK「にっぽんの芸能」ソロ出演。一躍脚光を浴び、2017年3月、1stアルバム「玲央1st」でメジャーデビュー。2018年MBSドキュメンタリー番組「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」に出演。8月に2ndアルバム「玲央 Encounters : 邂逅」をリリース。2019年サントリーホール「成人の日コンサート」出演。カバーアルバム「玲央 RE BORN」リリース。「第29回出光音楽賞」受賞。現在、沢井箏曲院講師。東京藝術大学在学中。

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上慶和

ご来場のお客様へ：新型コロナウイルス感染拡大防止に関してのご理解とご協力をお願い

以下の症状があるお客様はご来場をお控えください

- ・来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある方、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。
- ・その他、体調に不安がある方(高齢者や既往歴のある方等、重症化リスクの高い方は、医師の判断や関係機関の情報をご確認の上、慎重なご判断をお願いいたします)。

ご来場される際は以下にご協力下さい

- ・マスクの着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
- ・ご自身の顔(目、鼻、口など)を触る行為にお気をつけただくとともに、頻りに手指の消毒・手洗いをお願いいたします。
- ・ホール内では、開演前・終演後のご歓談はお控えください。

公演当日のホールにおける感染症拡大防止・予防への対応

- ・ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来場者様の検温を実施いたします。
- ・ホール内の換気をより強化し、外気入れによる換気を行います。
- ・ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。
- ・演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。
- ・プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただきますようお願いいたします。
- ・出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。
- ・スタッフも、お客様へのお声がけをできる限り控えさせていただくことを、あらかじめご了承ください。